

かさま 社協だより

No.13



編集・発行 2010.12.10

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



▲ありがとうございます
（岩間駅前）

▼赤い羽根街頭募金（笠間ポレポレにて）



も く じ

- ① 誰もが安心して暮らせる地域社会をめざして 2～3
- ② 社協ってなあに？ 4～5
- ③ 在宅ケアチーム員研修会 6～7
- ④ 支所だより 8～9
- ⑤ お知らせ 10

して暮らせる をめざして

評議員決まる



会長
梅崎 孝臣

去る7月の理事会・評議員会において、理事18人、監事3人、評議員39人が選任され、会長、副会長も決まりました。なお、選任された方々の任期は平成22年7月19日～平成24年7月18日までとなっています。

会長 梅崎 孝臣
副会長 船橋 慶子
副会長 塩畑 敏之

この度、理事会において、会長に選任され、重責にあたることになりました。責任の重大さに身の引き締まる思いがいたします。

市社協も合併して、早や5年目を迎えることになりましたが、会の運営や事業の推進については、公正・公平な側面より展開されて参りました。

これからは、去る3月に策定されました「笠間市地域福祉活動計画」を実行に移していくことが、市社協の重要な役割でもあり使命であると考えております。

特に、ボランティアセンターの活動とその位置づけ・住民ニーズに即応した地区社協の活動と組織づくり・介護保険に伴う事業等、事務局の体制を整備し、行政をはじめ、各種機関との連携を図りながら、住民を主体とした事業の推進および、会の運営に当たっていく所存であります。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



理事会

氏名	選出区分	地域
石本 芳子	福祉施設	笠間
大関 利男	区長会	笠間
船橋 慶子	ボランティア	笠間
福井 ふみ	民生委員児童委員	笠間
海藤 清治	地区公民館	笠間
瀬畑 洋子	民生委員児童委員	友部
小倉 秀男	支部社協	友部
飯田 親男	ボランティア	友部
郡司 正勝	区長会	友部
塩畑 敏之	学識経験	友部
梅崎 孝臣	学識経験	笠間

理事

氏名	選出区分	地域
永井 久	学識経験	笠間
岡野 博之	区長会	笠間
立川 孝子	福祉施設	笠間
佐藤 肇	民生委員児童委員	笠間
畑岡 進	市議会代表	笠間
藤枝 政弘	行政代表	笠間
小滝 徳治	行政代表	笠間



評議員会

監事

氏名	選出区分	地域
卜部 開	学識経験	笠間
寺内 寛	学識経験	友部
南指原賢治	学識経験	笠間

誰もが安心 地域社会

理事・監事・



副会長
塩畑 敏之

この度、副会長に選任されました。微力ではありますが、梅崎新会長を補佐し、地域活動計画の基本理念である「誰もが安心して暮らせる地域社会」の下、地域福祉活動の推進等4つの基本目標の実現に向けて、地域住民のニーズを的確に把握し、きめ細かなサービスが提供できる、温かみの感じられる杜協づくりに鋭意努めて参ります。皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



副会長
船橋 慶子

この度、役員の改選により副会長に選任されました。微力ではございますが、会長を中心とし、地域の人々が住み慣れたまちで安心して暮らせる「福祉のまちづくり」のために、様々な福祉活動を推進して参ります。また、市民の皆様が安心して来られる「明るい笑顔の杜協の窓口」でありますよう、職員の方々と共に協力して参りたいと思っております。皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

氏名 選出区分

氏名	選出区分	地域
石上 涉	青年会議所	笠間
大関 東三	学識経験	笠間
野村 利	ボランティア	笠間
石塚 勝美	身障協	笠間
柴沼 真一	高齢者クラブ	笠間
富田とく子	地域女性会	笠間
菅谷 輝夫	保護司	笠間
櫻村ふみ江	子ども会育成	笠間
安見 繁	民生委員児童委員	笠間

評議員

氏名 選出区分

氏名	選出区分	地域
三村拓次郎	区長会	笠間
高久 照美	ボランティア	笠間
黒沢 政男	地区社協	笠間
皆塚 和昭	支部社協	友部
郡司美津子	支部社協	友部
栗原 四郎	区長会	友部
菊地 寿代	ボランティア	友部
太田 寛子	ボランティア	友部
平倉 ヒサ	民生委員児童委員	友部
関 一雄	福祉施設	友部
柴田 良子	福祉施設	友部
宇田 卓司	高齢者クラブ	友部
加藤 泰廣	身障協	友部
石塚 正美	商工会（友部）	友部
山田 美徳	青少年相談員	友部
久保田満子	ボランティア	岩間

新任ごあいさつ

事務局長 菊池 治

この度、事務局長に就任いたしました。微力ではありますが、正副会長を始め、役員や評議員の方々と等社協関係者のご指導・ご支援をいただきながら、それぞれの地域に住んでおられる方々が「この地域に住んで良かった」と感じられる地域社会づくりに努めて参りますので、皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

氏名 選出区分

氏名	選出区分	地域
篠崎真一郎	青少年相談	岩間
藤井 敬一	地域代表	岩間
常井 鞠代	ボランティア	岩間
菅谷 正子	ボランティア	岩間
野口 賢男	地域代表	岩間
柴山三千夫	地域代表	岩間
山田 昇	ボランティア	岩間
生駒 敏文	地域代表	岩間
横山多都子	ボランティア	岩間
常井 武夫	地区社協	岩間
藤枝 好博	高齢者クラブ	岩間
須藤 勝雄	市議会代表	
安見 和行	行政代表	
小松崎栄一	行政代表	

理事

杜協の事務を処理すると同時に、外部に向かって杜協を代表する役員で、杜協の運営・経営について、執行責任をもちます。

監事

杜協事業の執行状況全体をみながら、事業や経理を監査します。

評議員

杜協の予算、事業計画、定款の変更等杜協の事項を審議・決定します。
(横堀・関・皆塚)

なあと？

No.7

前号、前々号で「介護保険制度」と「社協の介護保険事業」について掲載しましたが、ご理解いただけましたでしょうか。機会がありましたら、笠間支所のデイサービスの様子などものぞいてみてください。
本号では、毎号の最終ページで紹介しております「善意銀行」についてお伝えします。皆様から寄せられました善意の品々はどういう経路をたどってどのような「善意の花」を開かせるのか、そのゆくえを追ってみます。
(小松崎)

善意銀行預託
ありがとうございます

のゆくえ

金銭

皆様からお預かりした寄付金は、寄付者の意向に添い社会福祉事業に有効に活用されています。

使用済み切手

皆様からお預かりした使用済み切手は、ボランティアグループの方々により整理され、県社協に送られます。



切手

ボランティア
サークル

県社協

業者へ見積もりを
とって現金にする

県ボランティア
基金

ボランティアサークル
助成

ボランティア活動保険
(一部助成)

エコキャップ (ペットボトルキャップ)

皆様からお預かりしたエコキャップは
NPO法人エコキャップ推進協会へ送られます。



売却益をワクチン
寄贈団体へ寄付
認定NPO法人
「世界の子どものワクチンを」
日本委員会(JCV)

途上国に
ワクチンが
届きます



ポリオワクチンは1人分20円
20円で1人の子どもの命が救えます

ゴミとして焼却処分されると**3,150gのCO₂**が発生

みんなで集めてリサイクルすると**ワクチン代10円**

ワクチンの単価
(一人分概算)
ユニセフ・サプライ
ディビジョンによる概算

1.ポリオ (小児マヒ).....	20円
2.はしか.....	95円
3.BCG (結核).....	7円
4.MMR (はしか・おたふくかぜ・三日ばしか).....	114円



エコキャップとブルタブの回収ボックス

“社協”って

“善意の心”に感謝!!

寄付金品



ブルタブ・アルミ缶

皆様からお預かりしたブルタブ・アルミ缶は引取業者に売却してもらい、社協が運営している福祉作業所「たけのこ」・「あおぞら」の訓練生の活動資金の一部に充てられています。



ブルタブ・アルミ缶



「たけのこ」「あおぞら」



アルミ
精錬メーカー



その他

皆様からお預かりした食品類は配食や生きがいづくり事業などの食事に利用されています。また、タオル・雑巾・おむつ等は、介護福祉事業等で利用されています。

お預かりしたすべてのご寄付は各方面で大切に利用されています。

お伝えします。
私たちが毎日何気なく摂っている食事、実は膨大な情報が脳を刺激しています。
①食材の色や形、きれいな盛りつけなどが視覚を。
②おいしいにおいや香ばしい香りが臭覚を。
③食べ物が口に入ると味覚が。
④舌触りで触覚が。
⑤かむとバクバク、ポリポリと聴覚が働きます。
このように、人間の持つ五感を働かせ、脳の働きを活性化するには、食べるという行為が最適といわれていますが、よくかむことで脳血管の血流がよくなり脳を活性化して老化防止にもなります。
一日一回位食事を摂るときは、五感を働かせ、よく噛み、味わいながら食べてみてはいかがでしょうか。
(小野)



食事と
脳の活性化
前号では、食品について紹介しましたが、本号では食事について

チーム員研修会

認知症サポーター養成を目指して



研修会には現在在宅ケアチーム員として活動している方や民生委員など186人が参加しました。
今回は「認知症を知ろう」というテーマで、ケアハウスかさまの施設長である山本義則氏が、講演を行いました。初めにビデオ映像により、

皆さんは「地域ケアシステム」という言葉を聞いたことがありますか。これは、ひとり暮らしのお年寄りや障がいのある人など、支援を必要とする一人ひとりに在宅ケアチームを編成して、きめ細かい在宅サービスを行うシステムのことです。その活動を担う在宅ケアチーム員の研修会が、9月4日、友部公民館で開催されました。

認知症の概略と症例及び認知症の人に対する望ましい接し方を、ごみ出しと買い物物の例をあげていました。大切なことは、「本人の自尊心を傷つけないように対応すること」とのことでした。

◆認知症サポーターとは何か

・認知症の人の「応援者（サポーター）」のこと

・特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のこと

◆認知症の人と接するときの心がまえ

・さりげなく、自然に手助けする
・障がいを理解し「人間杖」になる

◆認知症とは

いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態（およそ6カ月以上継続）を指す。

◆認知症の症状

・脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状が中核症状と呼ばれます。（記

認知症 具体的な対応 7つのポイント

- ・まずは見守る
- ・余裕を持つて対応する
- ・声をかけるときは一人で
- ・後ろから声をかけない
- ・相手に視線を合わせて優しい口調で
- ・おだやかに、はっきりとした口調で
- ・相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する

・記憶障害、見当識障害、理解・判断力の低下、実行機能の低下など）

これらの中核症状のため周囲で起きている現実を正しく認識できなくなる。本人の性格、環境、人間関係など様々な要因が絡みあって、うつ状態や妄想のような精神状態や日常生活への適応を困難にする行動上の問題が起こってくる。（行動・心理状態）

◆認知症の予防について

・認知症の約2割を占める脳血管性認知症の予防には、高血圧や高脂血症、肥満への対策がとて有効

・認知症の半数以上を占めるアルツハイマー病でも、運動をはじめとする生活習慣病対策が発症のリスクを減

・脳の高活性化を図る

講演は80分にわたり、認知症全般について詳しく説明がありました。また、生活習慣（運動や食事）に気を配ること、発症や進行を遅らせることが有効な食材と料理についても紹介がありました。

参加者の声

二人でケアチームを組んでいるという女性は「今日はとても参考になりました。私が関わっている方は90歳になるひとり住まいの女性ですが、まだ認知症の様子はなくしっかりしています。家の前を通る時声をかけたり、ごみ出しの時の見守りをしています」と話していました。

在宅ケアチーム



在宅ケア

また、ある男性は「高齢化社会の進行に伴い、認知症を発症する人は確実に増えている。多くの人が認知症を正しく理解し、少しでも適切に対応出来ることが大切と感じた。また、近所に住む人の心配りは大きな援助になるのではないか」と感想を述べていました。

在宅ケアチームとは

地域ケアシステムでは、援助を必要とする一人ひとりに民生委員、主治医、保健師やホームヘルパー、ボランティア

ア、近隣にお住まいの方などがケアチームを組み、さまざまなサービスを提供し、要援護者が地域で安心して暮らせるような活動をしています。このチームを「在宅ケアチーム」といいます。在宅ケアチームのまとめ役として、対象者ともっとも信頼関係が強い人がキーパーソンとなります。

9月4日現在、笠間市には423の在宅ケアチームがあり、872人が在宅ケアに関わっています。

(生天目)

おそば 始めました!!

営業日：毎週木曜日(一般開放日)のみ
開館時間：9:00~16:00
入浴時間：10:00~15:00
休館日：祝祭日・年末年始(12/28~1/4)
入館料：大人300円・小人100円(中学生まで)乳幼児無料

☆入浴もできます!
☆カラオケのご利用はできません、またアルコール類の販売、持ち込みも禁止させていただいております。

すばらしい眺めと
ゆっくりくつろぎの
時間をお過ごし下さい

メニュー	
かけそば	400円
ざるそば	400円
肉汁そば	500円
天ぷらそば	600円



福祉センター いわま **そば処 ひとやすみ**
笠間市社会福祉協議会岩間支所
電話:0299-45-6520 / 0299-45-7889

訪問カットサービスを実施します

理容組合・美容組合の協力により理容師・美容師を各家庭に派遣し、頭髪のカットを行う訪問カットサービス(共同募金配分金事業)を実施します。

- 1 日程**
- ① 6月実施 申込締切
 - ② 9月実施 申込締切
 - ③ 12月実施 申込締切
 - ④ 3月実施 申込締切
- 今年度分は終了しました。
2月23日(水)

- 2 対象者**
- 市内在住で、お店での理容・美容サービスを利用する事が困難な在宅の身体障がい者(児)や寝たきりの高齢者等(介護保険認定で要介護3以上の方、身体障害者手帳で2級以上の方)

- 3 内容**
- 原則として頭髪のカットのみ

- 4 利用料金**
- 1人1回 1,000円

- 5 申し込み問い合わせ先**
- 社会福祉協議会
本所・友部支所 TEL 77-0730
笠間支所 TEL 73-0084
岩間支所 TEL 45-7889

だより

前号でも地区社協誕生のお知らせをしましたが、本号でも笠間地区で3つの地区社協が誕生しましたのでお知らせします。

また、地域のふれあいが希薄化しているといわれていますが、宍戸支部では暑期中、小学生を対象にオリエンテーリングを実施し、岩間地区では天候の悪い中ボランティアを中心に福祉バザーが開催され、あたたかい活動が展開されました。

笠間支所

地区社協発足

大橋地区
代表 海藤 清治
来栖地区
代表 加藤 昌昭
本戸地区
代表 鈴木 忠夫

大橋地区社会福祉協議会

2009年5月に地区内の区長、民生委員、高齢者クラブ会長、子ども会会長、ボランティア代表、地区公民館長および主事を中心にして設立委員会を設けました。

8月20日に笠間支所において、設立委員会の席に参加してもらい地区社協の目的や意義について説明をいただきました。



子どもたちとともに廃品回収

さらに協議を重ねました。向こう三軒両隣の精神で、福祉活動を展開することにより地域の結びつきを深め、強めることが究極の目的のようです。

規約を作成し、組織を作り、年間の行事を出し合って整理し、必要な書類を2010年7月に社協笠間支所に提出して承認を得ました。程なくして助成金が支給され、現在大橋地区の福祉活動に大いに役立っています。

来栖地区社会福祉協議会

来栖地区の地区社協「来栖四つ輪の会」は来栖公民館を母体として今年発足。来栖地区の住民が安心して暮らせる心豊かなまちづくりを目的としております。事業は来栖公民館の運営及び活動が会の目的と合致するので、その事業を支援する形で進めております。

8月15日の豊年盆踊り大会では、多数の参加を得て地域交流を図ることが出来ました。

8月23日には高齢者の集いで料理教室を開催し、地元の講師により調理実習を行いました。

から栄養摂取について学びました。

9月26日の敬老会への協力、11月13日には来栖菊の会の会員による作品発表の場に地域の皆さん方を招き、共に楽しんでいただくという「来栖の菊まつり」を支援し、地域の交流に役立てました。



にぎやかに豊年盆踊り大会

本戸地区社会福祉協議会

平成22年7月26日に本戸地区の6つの区が協力し本戸地区社会福祉協議会が発足いたしました。

事業は、これまでの公民館活動を中心に、盆踊り、敬老会など地域のみなさんの顔が見える交流会を実施しております。

盆踊りは、今年で27回目、

約400人の参加がありました。役員さんの協力により、本格的なやぐらが組まれ、踊った人全員に参加賞が贈呈されました。また、打ち上げ花火もあり、子どもからお年寄りまで楽しいひとときを過ごすことができました。

敬老会では、250人の参加があり、地域のみなさんで長寿のお祝いをすることができました。

今後も、焼き物体験や健康体操などを取り入れ、地域のみなさんと共に様々な事業を実施していきたいと思っています。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。



みんな楽しく



多く人が参加した地区懇談会

支所

友部支所

六戸支部
受け継がれて
32年
青少年健全
育成委員会

社協六戸支部が昭和53年に創設され、4つの委員会から運営されている。

その中の青少年健全育成委員会は、支部発足と同時に活動を開始し、多くの先輩諸氏が試行錯誤しながら青少年の健全育成を願って受け継がれている。この委員会は39人で3つの事業を展開している。

地区懇談会

六戸地区を14に分け、7月に14日間かけて区長、警察署、小中学校のご協力で実施。28回を迎え、マンネリ化の声もあるが各地区からの要望事項などの解決をみた時はやって良かったと思う。例えば矢野下地区では、「高架橋の壁面の落書きを何とかしてほしい、子どもには見せたくない」と若いお母さんの真剣な訴え。



交流会に参加した子どもたち

また「通学路で暗い所があるので…」と父親の声など。そして、悲願である「ししと橋」は、本当に危険で最近立哨してひしひしと感ずる。

小学生との交流

8月23日猛暑の中、児童を対象にした北山オリエンテーリングを実施。県オリエンテーリング協会の指導を受け

コースを設定。先生方4人は早朝より準備にあたり、子どもたちは説明を受けて地図とコンパスを手に入れた。1位のグループは女子で、4kmを1時間25分でゴール。案ずるより産むが易し。大人が下見した時は2時間ばかりだったが、子どもたちは次々とゴールした。本物を経験した子どもたちは、良い野外学習だったと確信した。

教育集会

子ども時代の経験は折りにふれてはのほのほと思ひ浮かび、今頃になって接点が理解できて、当時携わった方々の顔が浮かぶ。今の私たちの活動はこれなのかな…と感ずるこの頃です。
(小川副委員長)

岩間支所

福祉バザー
を開催
岩間ボラ連協
副会長
菅谷 正子

10月31日、心配していた台風の大きな影響もなく福祉バザーが開催されました。

9時開始と同時に大勢の人たちが気に入った品を選び、一人でも何点も買って次のテントに行く姿が目につきました。また、ボランティアの皆さんが売り子となり、一所懸命に品物を売る姿が、いきいきと感じとれました。



値付け風景



なにがいろいろあるかな

社会的に消費者が不要な物は買わない賢い節約志向が見られるようになりましたが、気軽に集まれるバザーに人々の思いは強く、一人では出来ない事が大勢の力で福祉バザーを開催する事が出来、このバザーを通して人の「ぬくもり」を感じました。

今回、品物を拠出して下さった皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さんのご協力で盛大にバザーを開催する事が出来、おかげ様で22万664円の益金がありました。この益金は、すべて岩間地区の福祉向上のために使わせていただきます。有難うございました。

善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成22年1月1日～平成22年4月31日まで(順不同・敬称略)

物

笠間給食センター	使用済み切手
旭エスケーパー	使用済み切手
有限会社清水工務店	使用済み切手
田崎 敦生	使用済み切手
	使用済み切手5,665枚
戸崎 富治	使用済み切手
高松 信市	使用済み切手
笠間市民生委員協議会	使用済み切手
かいつぶり俳句会	使用済み切手
かみなりもん美容室	使用済み切手
西山 忠	使用済み切手
古木 貞雄	使用済み切手
田中 道子	使用済み切手、未使用年賀はがき327枚
ガールスカウト茨城県第30団	使用済み切手5,665枚、 使用済み切手268枚
カワチデンキ	使用済み切手、使用済み切手カード
岩間第一幼稚園	使用済み切手 1,366枚、 テレホンカード58枚
笠間幼稚園PTA	使用済み切手1,392枚、 プリペイドカード1枚
青葉町長寿会	使用済み切手949枚、葉書16枚、 テレホンカード5枚
山田 幸子	使用済み切手 ペットボトルキャップ多数
稲田中学校	使用済み切手、フルタブ
江田 洋子	記念切手10,450円分
ボランティアサークルありんこ	未使用切手16,800円分
茨鉄工業株式会社	フルタブ20kg
不二製油株式会社	ペットボトルキャップ
友部小学校児童会	ペットボトルキャップ多数
友部第二中学校JRC委員会	ペットボトルキャップ多数
茨城中央農業協同組合岩間支店	ペットボトルキャップ多数
下安居婦人防火クラブ	ペットボトルキャップ・フルタブ多数
山田 こう	アルミ缶、フルタブ、 ペットボトルキャップ
ざつき観光	アルミ缶
常陽銀行 友部支店	エプロン65枚
鈴木水保子	「手作りコマ 1,000個」
鈴木 保一	おむつ多数、ポータブルトイレ消費液
羽石 定光	シルバーカー 2台、4点杖 1本
鈴木 早苗	車椅子、おむつ
秋山 洋子	絵本多数

株式会社ソフトメン橋本屋	ゆで中華メン2,400食
	焼きそばメン(ゆで)600食
美留町文男	大根(米袋2袋)、大根1袋
	白菜4コテナ、じゃがいも米袋1袋、 切り干し大根
	じゃがいも1袋・三つ葉1コテナ
匿名	清酒
匿名	紙おむつ他
匿名	紙おむつ他
匿名	車いす他
匿名	使い捨て手袋他
匿名	タオル・毛糸
匿名	タオル

金 銭

常陽銀行笠間支店職員一同	10,219円
常井 鞠代	3,301円
野口 みさ	1,063円
さくら幼稚園PTA	20,000円
日本敬神宗祖自修団	17,400円
中央ろうきん友部支店推進幹事会	27,789円
茨城保険事務所	20,000円
川井 晃雄	30,000円
青木勇一歌謡教室実行委員会	30,000円
バザー夢工房	12,543円
環境チケット支援金	1,192円
友部ごみを考える会	3,000円
笠間市食生活改善推進協議会笠間支部	4,618円
青葉町長寿会	30,848円
鶴田 美智	5,000円
1本杉の地蔵尊	394円
笠間市レジ袋削減推進委員会	1,043円
北川根地区グラウンドゴルフ同好会	24,200円
笠間エスシー協同組合	1,785円
ニューサウンスオーケストラ	30,000円
ツバメの会	2,992円
匿名	131,383円

戸別・街頭・企業・職域・学校募金など、皆様からの協力により、11月26日現在111万1,347円集まっております。この募金は、平成23年度の福祉活動費として活用させていただきます。



赤い羽根共同募金

10月1日から「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガに赤い羽根共同募金を実施されました。

平成22年度 心配ごと相談所開設日程表

日常のお困りごとなどで相談ください(無料・秘密保持)

時 間: 13:00～16:00

	笠間支所 (毎週火曜日) 社協笠間支所	友部支所 (毎週水曜日) 友部社会福祉会館	岩間支所 (毎週木曜日) 岩間保健センター
1月	4日・11日・18日・25日	5日・12日・26日	6日・13日・20日・27日
2月	1日・8日・15日・22日	2日・9日・16日・23日	3日・10日・17日・24日
3月	1日・8日・15日・22日・29日	2日・9日・23日・30日	3日・10日・17日・24日・31日

法律相談 ※予約が必要になります。お問い合わせください。

笠間支所	友部支所	岩間支所
第3金曜日 10:00～12:00	第1金曜日 10:00～12:00	第2金曜日 10:00～12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

友部支所 0296-77-0730
笠間支所 0296-73-0084
岩間支所 0299-45-7889

編集後記

残暑の厳しい中で始まった社協だより13号が発行の運びとなりました。市社協では、新役員による体制が整いました。また、地区社協が続々と発足し、支え合う社会づくりが進んでいます。会員の皆様に社協の活動をご理解いただきたく、これからも紙面作りに努めていきますので、ご意見等お寄せください。(高瀬)